

スナメリってどんな生き物？（クイズ編） 作成日：2022年3月 ※PDFデータ有	スナメリってどんな生き物？（解説編） 作成日：2022年3月 ※PDFデータ有
--	---

日本最古の歴史書「古事記」の冒頭にある国生み神話にはイザナギノミコトとイザナミノミコトが日本列島を生んでいく様子が描かれてる。2柱の神が混沌とした世界に「天ノ沼矛（あまのぬまぼこ）をさしてかき回し、塩杬々々呂々（こをろこをろ）とかき鳴らし」という描写が「鳴門海峡の渦潮から発想を受けた」と言われている。

パネルサイズ A1 (縦) 594×841 mm

瀬戸内海における海洋ごみ問題 ※PDF データ有

作成日：2021年11月

瀬戸内海における海洋ごみ問題

1. 瀬戸内海と海洋ごみ

瀬戸内海は大小約700以上の島がある多島海で、古くから私たちに美しい景観と豊富な海洋資源の恵みをもたらしてきました。高度経済成長期には、環境汚染が深刻化し、「瀬死の海」と呼ばれた時期もありました。みなさんの地道な取組により、現在の状況は改善しつつありますが、課題も多くあります。その課題の1つに海洋ごみ問題があげられます。

2. 海洋ごみとは

漂流ごみ

漂着ごみ

海底ごみ

5. プラスチックの細分化

紫外線

細分化

マイクロプラスチック

3. 海洋ごみはどこからどこへ？

回収 1400 t

陸からの流入 3000 t

瀬戸内海への総流入量 4500 t

外海への流出 2400 t

外海からの流入 300 t

海底に沈積 700 t

6. 近年浮上している懸念

有害化学物質

吸収

食べる

排泄

マイクロプラスチック

4. 瀬戸内海で採取した海底ごみの内訳

プラスチック類 (87%)

金属類 (6%)

その他人工物 (2%)

布類 (2%)

ガラス、陶磁器類 (1%)

紙類 (1%)

ゴム類 (1%)

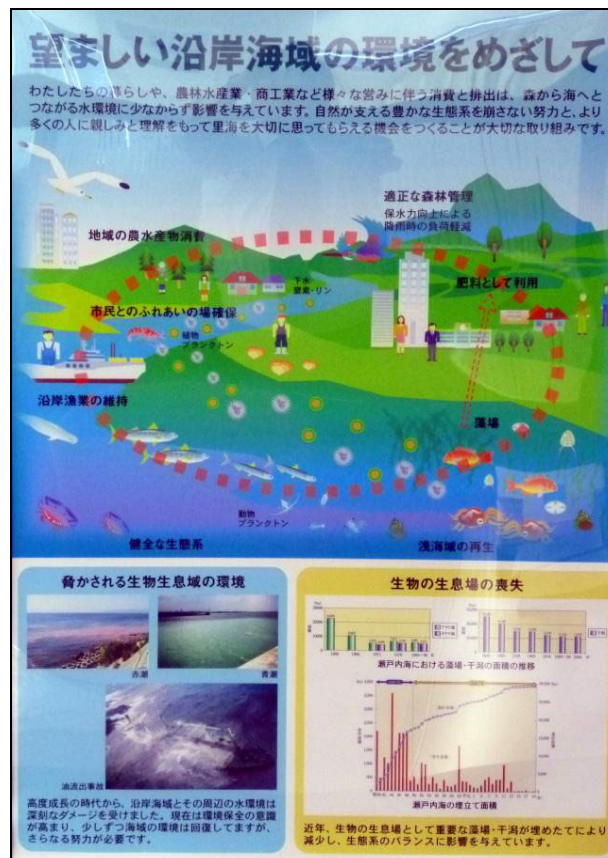
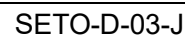
7. できることから考え、行動する

・私たちは瀬戸内海から多くの恵みを受け、暮らしているとともに海とつながっています。

・瀬戸内海のごみ問題は私たち一人ひとりの問題です。

・海ごみを出さないこと、回収することについてあなたのできることを考えてみましょう。

パネル種類	内容	サイズ	毎数
瀬戸内海環境保全推進ポスター原画パネル (平成 13～30 年度 ・令和元～4 年度)	瀬戸内海環境保全推進ポスターの入選作品の原画 作品は下記 URL (瀬戸協ホームページ) で確認できます。 https://www.seto.or.jp/poster	A2 (縦) 420×594 mm	年度毎 ・最優秀賞 1 枚 ・優秀賞 2 枚 ・佳作 10 枚前後
瀬戸内海の風景	平成 25 年に行った瀬戸内海環境保全特別措置法制定 40 周年記念事業「瀬戸内海フォトコンテスト」入選 30 作品 作品写真は下記 URL (瀬戸協ホームページ) で確認できます。 https://www.seto.or.jp/promotion/kako/photocon	最優秀賞 B2 (横) 728×515 mm 優秀賞 B3 (縦・横) 515×364 mm 入選 B4 (横) 364×257 mm	1 枚 2 枚 27 枚



里海 って、なに？

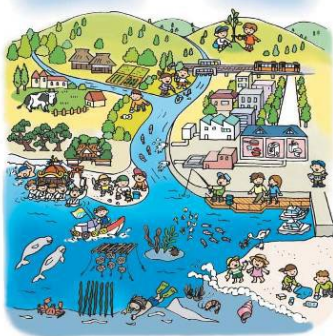
山と川と海のつながり、人とのつながり

日本は海に囲まれた山の多い島国で、貝塚遺跡からの海産物や木の実などの出土品に見られるように、昔から海や山とのかかわりを持った生活文化を育んできました。

例えば昭和の初期頃までは、海産物は、食料として、魚の肥料として、幾々焼石などの補修材として、アマモの石炭屑などに、また、白砂青松と評される松は、防風、防風、魚付林、塩の生産や台所の燃料や、建築、農具、漁具の材料として、人々の生活に多面的に利用されてきました。

ところが、昭和45年頃の高経済成長期の頃から、人と沿岸海域とのかかわり方が変わってきました。海の埋め立てなどにより海岸線の形状が変化し、エネルギーを石油に依存する社会となり、化学肥料が普及したこと、人が海と接する機会が減ってしまいました。さらに、ダムや堤により、川を通じた山から海までの生態系のつながりが分断され、陸域に捨てられたごみ、浮遊ごみや漂着ごみとなる等、沿岸海域の環境悪化を招いています。このため、沿岸海域における生物生態系や海域環境の再生には、山から海までの健全な物質循環の再生が不可欠となっています。

このように失われた海域環境の再生や残された良好な海域環境の保全を行うために、「里海」という考え方が提唱されました（例、平成10年、平成18年）。



社団法人 瀬戸内海環境保全協会
The Association for the Environment Conservation of the Seto Inland Sea

里海 って、なに？

海の環境保全と再生の必要性

里海とは、「人手が加わることでより生物生産性と生物多様性が高くなった沿岸海域」であると定義しましたが、この里海は、森や川、まちから流れ出る産業やリンなどの栄養塩と呼ばれる植物の成長に欠かせない栄養塩によって支えられます。

この栄養塩が少なくなると、栄養塩の状態になり、海の生物生産の基礎となる植物プランクトンが減少し、これを利用する海の生物の種類や個体数が低くなるので、海の生物の生産性が低くなります。例えば、ノリが十分に成長できなくなるので、漁業活動にも影響を与えます。また、栄養塩が多くなると植物プランクトンが増殖し、これを上位の動物プランクトンに転送されない（捕食されない）と、赤潮や黄緑藻化といった海の環境に大きな影響をもたらす現象を引き起こします。

このように栄養塩により、海域における深い循環と、消らかな物質循環が生れることとなります。

健全な海域環境では、植物プランクトンが動物プランクトンや小型の魚類、貝類の餌となり、さらに大型の魚類に利用され、魚類や貝類などが鳥や人に利用されるという生態系の連鎖（長い循環）が生れます。これらの海の物質循環が滞らなくなると、どこかに過剰な段階が生じてバランスが崩れることとなります。

このように、「太く・長く・滑らかな物質循環」を実現することが里海の基本となります。人々が対象となる区域のどの部分にどのような手を加えることが、この「太く・長く・滑らかな物質循環」を実現することになるかを検討し、活動を行うことが大切です。



社団法人 瀬戸内海環境保全協会
The Association for the Environment Conservation of the Seto Inland Sea

里海 づくり ①

里海づくりとは？

沿岸海域や流域に適切な人手を加えることにより、生物多様性を保全・再生しながら健全な物質循環を取り戻し、現状よりも多くの恵みを継続して受けられることができるようにすることです。

沿岸域の多様な主体が、身近な海に興味を持ち、身近な海を守るための様々な活動に何らかのかかわりを持って参加し、それぞれが協働して活動を進めることにより地域情報を交換し、人々の交流の輪を広げていくことです。

単なる空間の概念にとどまらず、人々の日々の暮らしや海の環境改善のために取り組む活動を示す運動の概念でもあります。



社団法人 瀬戸内海環境保全協会
The Association for the Environment Conservation of the Seto Inland Sea

里海 づくり ②

里海づくりの方法

自然と人間のかかわり方は様々であり、そのかかわり方によって、自然を守ることも、また自然を破壊してしまうことにもなります。したがって、人手の加え方が重要となってきます。

陸域から排出される汚濁物質などによる水質悪化、藻場・干潟等の減少、海ごみの増加、海の生物多様性の減少や生物個体数の減少などに対し、人の手を加えることで、海域環境の悪化を食い止め、良好な環境を回復する手助けとなり、豊かな海の創生につなげることができます。

一方で、例えば禁漁区を設けるなど、特定の海域について人の手を加えないようにして、原生自然に近い海域環境の保全、海域の生態系の保護等を図ることも、人手が適切に加わって管理している状態の一つと言えます。海の環境に応じて地域ごとの海と人との適切なかかわり方を模索し、それを継続していくことが大切です。



里海づくりは、「物質循環」、「生態系」、「ふれあい」という活動により保全・再生される3つの要素（保全・再生要素）と、活動を実施する「場」と「主体」という2つの活動要素により構成されます。特に「場」「主体」という2つの活動要素が入っていることで、単に里海という場、つまり空間の概念にとどまらず、沿岸住民、漁民の方々や、沿岸地域や流域の継続的な環境活動として根ざすことで持続的な取り組みが可能となる、活動自体を含めた運動の概念でもあります。

社団法人 瀬戸内海環境保全協会
The Association for the Environment Conservation of the Seto Inland Sea

スナメリの紹介

スナメリとは

小さなクジラです！

スナメリは、体長が約160センチメートルから170センチメートル、体重は50キログラムから60キログラムの小さなクジラです。体色は銀白色をして、頭は丸く、とても愛らしい顔をしています。イルカのようなくちびるや背びれはありません。現在、スナメリは減少しているのに、捕まえて、外国から日本につれてくることは禁止されています。




アジアの地域に広くすんでいます！

スナメリは、ペルシャ湾から日本にいたる、インド洋、アジア地域に広く住んでいます。日本では、奄美群島から、伊勢湾、瀬戸内海地域、西九州などの50メートルより浅い海域で多く見られます。日本海側では能登半島より西側でときおり見られます。

瀬戸内海にもすんでいます！

かつて瀬戸内海にはたくさんのスナメリが生息していました。1970年代には約5,000頭はいたと言われていました。現在の生息数は不明ですが、かなり少なくなっています。原因は海の汚染や船舶による事故、スナメリの好む浅い海域が減少したためといわれています。




社団法人 瀬戸内海環境保全協会 TEL: (078) 241-7720 FAX: (078) 241-7730
http://www.seto.or.jp/setokyo/

スナメリが減少した理由

5つの説

- ① 網に絡まっての死**
スナメリが、網に絡まるイサナなどを追いかけて、漁船の網にかかってしまうことが多く起こり、網に絡まって身動きできずに溺れてしまっている説。
- ② 浅い海域の減少**
埋め立てや海砂利の採取により、スナメリが生息する浅い海域が減少したため、スナメリが減ったのではないかとする説。
- ③ 化学物質による汚染**
スナメリは化学物質を分解することができず、瀬戸内海の汚染等により化学物質を取り込んでしまったために、子供がでにくくなってしまったとする説。
- ④ 船舶との事故**
瀬戸内海を航行する船舶が増え、大型化、高速化したために、スナメリが事故に巻き込まれることが多くなって減少したとする説。
- ⑤ 餌不足説**
スナメリは、ヒヨールなどを食べ物と誤って飲み込んで死んでしまうことが多いという説。

スナメリの行動

スナメリは瀬戸内海においては、1頭から3頭連れている場合が多いようです。小さい群れが集まって一時的に大群を作ることもあり、太平洋岸では、100頭ものスナメリの群れが確認されています。




スナメリの群 (山口県で撮影)

なぜスナメリが大切なのか？

スナメリは、瀬戸内海における食物連鎖の頂点にあるといえ、汚染物質を体の中にとめやすいといわれています。こうした意味から瀬戸内海の環境のシンボルとして大切な生きものであり、再び瀬戸内海でたくさんのスナメリをみかけるようになったときこそ、美しい海が回復したと考えることができるのです。

みんなの協力で、私たちの住みやすい海にしていね！

社団法人 瀬戸内海環境保全協会 TEL: (078) 241-7720 FAX: (078) 241-7730
http://www.seto.or.jp/setokyo/

海洋ごみによる問題

海洋ごみは、様々な環境問題を引き起こします。これらは、身近な地域の問題にとどまらず、地球規模に広がっているのが特徴です。

景観・海洋汚染の問題




漂着した大量のプラスチックごみ 観光客の歩道 観光客の歩道 観光客の歩道

漁業への影響(養殖ノリ等、水産物への混入)




ごみが混入した養殖ノリ 養殖ノリに混入したごみ

廃棄物処理問題(養殖用フロートの放置など)




こわれた養殖用フロート 漁民が回収したフロート

港湾への影響(流木の流入)




港に流れついた流木破片 台風災害による流木

社団法人 瀬戸内海環境保全協会

海岸に漂着する主なごみ

海岸には、多種多様な人工ごみが漂着します。



風 食料トレイ
ペットボトル・空き缶 廃棄物
牛乳パック・一升瓶
カキ養殖用パイプ 掃除道具 ライター タバコフィルター
漁網、たこつぼ ボール マジック 蛍光灯
自転車 注射器 バッテリー
ガラス破片 農作物 缶詰 瓦の破片

社団法人 瀬戸内海環境保全協会

海洋ごみを減らすために

海岸に漂着するごみは、私達の日常の生活から出ているものや、レジャーなどで捨てられたものがたくさんあります。

◆安心して、いつでも裸足で歩けるような美しい海岸にするために、絶対にポイ捨て等をしないで、ごみは持ち帰りましょう。また、日頃からごみを出さないよう心掛けましょう。

社団法人 瀬戸内海環境保全協会

海岸漂着ごみのモニタリングの方法

(社) 瀬戸内海環境保全協会では、兵庫県淡路県民局の委託を受け、淡路島でモニタリングを実施しました。モニタリング開始前には、対象海岸にある人工ごみをゼロの状態に一度リセットしました。その1ヶ月後からモニタリングを開始しました。

回収前

モニタリングの範囲は、海岸で平均的にごみが集積している場所、奥行きが約20m、幅10mの範囲を2箇所設定しました。

↓

回収

設定した範囲内にある人工ごみを対象に、一個一個手で回収しました。

↓

分類

採取した漂着ごみは、クリーンアップ全国事務局(JEAN)の調査データカードの項目に従って、分類し、項目別数量を求めました。

↓

回収後

採取したごみは、地元の市町村のルールに従い、不燃ごみ・可燃ごみ等に分け、処理をお願いしました。

社団法人 瀬戸内海環境保全協会

ゴミは、どこからやってくるの？

漁業(魚網、フイ等)等海上での活動による物

海外からやってきた物

海に投棄された物

海岸に直接持ち込まれた物

川から流れてきた物

海岸でのゴミ世界トップ10

-2007年国際海岸クリーンアップの結果から-

順位	品目	個数	%
1	タバコのすいがら・フィルター	1,971,551	27.2
2	食品の包装・容器	693,612	9.6
3	キャップ・ふた	656,088	9.1
4	袋類	587,827	8.1
5	飲料プラスチックボトル(2ℓ以下)	494,647	6.8
6	食器(カップ、スプーン、お皿等)	376,294	5.2
7	飲料ガラスボトル	349,143	4.8
8	葉巻などの吸い口	325,893	4.5
9	ストロー・マドラー	324,680	4.5
10	飲料缶	308,292	4.3
合計		7,238,201	84.1